



実行委員会資料

こおりやま産業博実行委員会

こおりやま産業博 2015 事業報告

I. 事業概要

(1) 名 称

こおりやま産業博 — KORIYAMA EXPO 2015 —

(2) 開催主旨

B-1 グランプリ開催で強まった産学金官の連携を活かし、「農業・観光物産展」と「産業フェア～夢商い～」を融合、本市産業の魅力を結集した一体的プロモーションを行う産業見本市を開催する。

“ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会”をテーマに、お客様が集い、体験し、楽しめる事業を目指すとともに、出展者間の交流や商談会を通じて販路拡大を支援、ものづくりの振興とブランドの創出を図る。

(3) 主 催

こおりやま産業博実行委員会

(郡山市・郡山商工会議所・郡山地区商工会広域協議会・郡山市農業協同組合)

(4) 協 力

郡山地域テクノポリス推進機構・郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

(5) 後 援

復興庁・福島県・郡山市教育委員会・福島県商工会議所連合会・福島県商工会連合会・
(一社) 郡山医師会・郡山市商店街連合会・(公社) 郡山青年会議所・郡山市観光協会・
郡山市観光物産振興協会・郡山農業青年会議所・日本貿易振興機構福島貿易情報センター・(公財) 郡山コンベンションビューロー・郡山市特産品づくり推進協議会・郡山地区ハイヤータクシー協同組合・(一社) 福島県情報産業協会・郡山地域テクノポリス推進協議会・郡山地域企業戦略研究会・福島県広告業協会・福島県デザイン振興会・郡山大規模店協会・郡山高度情報化システム研究会・郡山美味しい街づくり推進協議会・郡山市福島空港活用促進協議会・東日本旅客鉄道・福島交通・福島民報社・福島民友新聞社・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ラジオ福島・ふくしまFM・福島リビング新聞社・街こおりやま社

(36団体・企業)【順不同】

Ⅱ. 実行委員会

■日 時 平成27年5月28日（木）午後2：00～

■出席者 65人

■場 所 郡山商工会議所 6階 中ホールA

■議 事

第1号議案 実行委員会規約（案）承認の件

第2号議案 実行委員会委員委嘱（案）承認の件

第3号議案 事業計画（案）並びに収支予算（案）承認の件

第4号議案 その他



Ⅲ. 出展者募集

■募集期間 平成27年5月29日（金）～6月30日（火）

■募集方法 ①実行委員会構成団体を通じての出展依頼

②これまでの「こおりやま産業フェア」・「郡山の農業・観光物産展」出展者への出展依頼

③新聞・ホームページなどを通じての広報

■申込数 183企業・団体 225小間

IV. 出展者説明会・セミナー

- 日 時 平成27年8月21日（金）午後1：30～
- 出席者 126人
- 場 所 ビッグパレットふくしま コンベンションホールB
- 内 容 第1部 展示会活用セミナー
仕組みがあれば、顧客は増える！
中小企業診断士・1級販売士 綿貫有二 氏
第2部 出展者説明会



V. わが社の売り込み商談会

- 日 時 平成27年9月18日（金）午後1：30～
- 場 所 ビッグパレットふくしま マルチパーパスルーム
- 内 容 地元や仙台の大型店バイヤーを招聘し、事前予約制の商談会を開催。
計37商談を実施しました。



VI. こおりやま産業博-KORIYAMA EXPO2015-

■会 期／平成27年9月19日（土）・20日（日）

■入場者数／17,000人

■会 場／ビッグパレットふくしま 多目的展示ホールA・B・C 屋外展示場

■開会式



実行委員会会長挨拶
こおりやま産業博実行委員会
丹治一郎 会長



郡山市長挨拶
品川萬里 様



来賓挨拶
衆議院議員 根本匠 様
(代理 秘書 武藤浪治様)



来賓挨拶
参議院議員 増子輝彦 様



来賓挨拶
福島県知事 内堀雅雄 様
(代理 県中振興局長 鈴木忠夫様)



来賓・主催者の皆様で鏡開き

■会場風景



開場前から長蛇の列



各ブースでは、自慢の商品やサービスを売り込みました。



■ 関連企画の実施



TOYOTA ミライ実車展示
話題の水素自動車が登場！来場者の関心を集めました。



福島ミドリ安全(株)は腰補助用マッスルスーツを実演



自社PRタイム

福島県南酒販(株)はふくしまの地酒をPR



コマツスマートコンストラクション

先進のICT車輛制御技術を搭載した、油圧ショベルPC200i



ビジネスの現場でも利用され始まっているドローンの飛行デモンストレーション



溶接の匠デモンストレーション

現代の名工にも選ばれている浜津修弘氏（JR東日本郡山総合車両センター）による実演



姉妹都市物産展

奈良市・久留米市・鳥取市などの特産品を販売



産直野菜の販売

郡山市内で採れた野菜・果物や加工食品を販売



IT ビジネスセミナー

9月19日(土)・20日(日) 12:45~
Web 炎上から企業と個人を守る備え等、明日から導入可能なサービスを伝授
4セミナーにのべ80名が参加



みちのく阿波踊り

緊急出演！郡山市内の愛好者集団「うつくしま連」の協力による華やかなステージ



郡山北工業高校

ロボットデモンストレーション
世界大会入賞ロボット「shadow」をご紹介。



今泉女子専門学校

ファッションショー
プロを目指す学生の作品によるショー



郡山商業高校チアリーディング
 全国大会で優勝した華やかなチアリーディングに観客は目が釘付け



郡山商業高校電卓デモストラショ
 電卓競技全国主要大会三冠を獲得した腕前を披露



安積中学校 合唱発表
 楽都こおりやまを代表する個性豊かなハーモニー



バルーンショー
 バルーンアーティストしゅうちゃんによる楽しいショー



フラダンスショー
 郡山市内の小松フラスタジオの協力によるショー



元宝塚歌劇団真灯かなた & バレダンサー橋本みなみ
 妖艶なショーで観客を魅了



ジャンピングバルーン
 大きなバルーンに乗って空中遊泳！子供達に大人気でした。



世界ベンチ・イス創作コンテスト 入賞作品展示
 音楽がテーマの見て・座って・楽しいベンチ



似顔絵コーナー
 国際アート&デザイン専門学校の協力。年配の方からお子様まで大人気でした。



郡山グルメ飲食コーナー
 湖南そばやキャベツ餅など郡山ならではのグルメを堪能



郡山地方広域消防組合
 防災への活動や最新の防災グッズを展示

<p>安積南物産 3,500円</p> <p>お歳暮商品</p>	<p>のまも郡山 4,500円</p> <p>お歳暮商品</p>
<p>ボタの坂郡山 4,350円</p> <p>お歳暮商品</p>	<p>3時のおもてなし 3,000円</p> <p>お歳暮商品</p>

お歳暮市 9月19日(土)～12月2日(水)

TEL: 024-983-2600 FAX: 024-983-2640

TEL: 024-983-3754 FAX: 024-983-3786

こおりやま特選お歳暮市
 郡山の特産品を詰め合わせた、お歳暮商品をこおりやま産業博より販売開始。

産業博の計画を決めた会合



9月初の郡山「産業博」

郡山地域の産業や観光、農産物などを一体的にPRする初のイベント「こおりやま産業博」KORIYAMA EXPO2015」は九月十九、二十の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで開かれる。ブース展示や体験事業などを通じて販路拡大やものづくり振興を図る。二十八日に郡山商工会議所で開いた実行委員会の会合で決まった。

再生エネ、医療PR

グルメ、音楽など多彩に

産業博は市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA郡山市でつくる実行委員会の主催。昨年まで継続的に催してきた「農業・観光物産展」と「産業フェア」夢商い」を融合し、「ふ

未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに開催する。再生可能エネルギーや医療機器ロボット、住まいなど多彩な分野に関するブースを設け、展示販売を通じて地域産業をPRする。イベント前日の九月十

八日には、地元中小企業が首都圏の百貨店や大型スーパーと個別商談できる機会を設ける。郡山産のグルメを売

演販売する他、加工食品を詰め合わせたギフトセットも提供する。観光PRにつなげる企



会合であいさつする丹治会頭

島民報社から佐藤光俊取締役郡山本社代表が出席した。

ブース出展の企業、団体募集

こおりやま産業博実行委員会はイベント当日にブース出展する企業、団体を募っている。ブースの広さは間口二ダシ七十ダシ、奥行き一ダシ八十ダシ。出展料は二日間二万一千六百元（実行委員会構成団体の所属会員は一万六千二百円）。いずれも税込み。

こおりやま産業博の開催日程などを決めた実行委



実行委 物産や企業技術一堂に

産業博は、これまで同市で開かれていた農産物や産品をPRする「農業・観光物産展」と、企業の技術や製品の紹介、商談会などを行う「産業フェア・夢商い」を融合して開く。両イベントのメリットを生かし、豊かな自然、歴史文化や食、最新の産業技術などを誇る郡山の魅力を発信し、戦略的なブランドづくりにつなげる。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに開く。

実行委には約80人が出

席。丹治一郎同商議所会頭があいさつした。会長に丹治会頭を選んだほか、実行委規約などを承認した。イベント内容は、アフターふくしまアステイネーションキャンペーン(DC)に向けたプロモーションとして、首都圏の旅行業者を招いた現地視察をはじめ、安積開拓と近代化産業遺産の紹介や、地元グルメの実演販売、姉妹都市などの物産品販売、音楽ステージなど。

ビジネスセミナーや地元企業と求職者の雇用マッチング支援なども行う。

9月19、20日に「産業博」

郡山市の産業の魅力が一堂に結集する「こおりやま産業博」は9月19、20の両日、同市のビッグパレットふくしまで初めて開かれる。市や郡山

商工会議所などをつくる実行委員会
の主催。同商議所会館で28日、実行
委が開かれ、事業計画や収支予算な
どが決まった。

効果的な出展方法を伝授する綿貫さん（左）



効果的な出展法学ぶ

産業博前に郡山でセミナー

本番へ準備万端

九月十九、二十の両日に郡山市のビッグパレットふくしまで初めて開かれる「こおりやま産業博—KORIYAMA EXPO2015」の出展者セミナー・説明会は八月二十一日、同会場で開かれた。郡山の産業や観光、農産物などを一体的にPRするイベントを有効活用してもらおうと、効果的な出展方法をアドバイスした。

実行委員会の主催。出展者のうち約百三十人が出席した。マーケティングを中心としたコンサルティング活動に取り組んでいる中小企業診断士・一級販売士の綿貫有二さんが「仕組みが

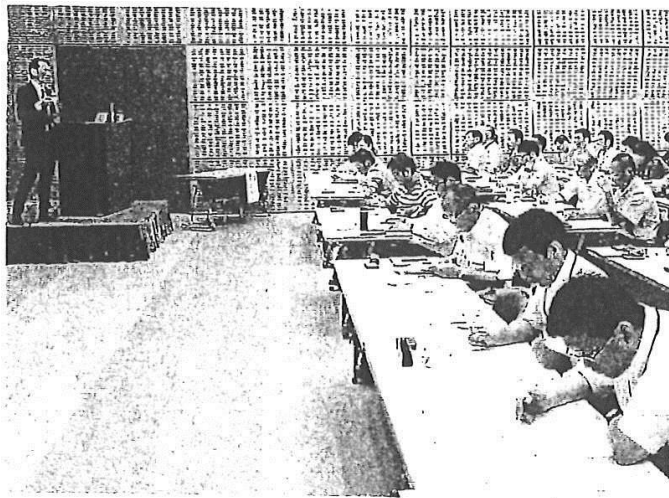
あれば、顧客は増える」との演題で講演した。

綿貫さんは、成果を出すための心構えや、ブース内の陳列・演出方法、集客などについて詳しく説明した。来場者は本番に向け、

思いを新たにしていた。引き続き事業概要や出展の手引などに関する説明会も催された。

こおりやま産業博はブース展示や体験事業などを通じて販路拡大やものづくり振興を図るのが狙い。市、郡山商工会議所、郡山地区商工会広域協議会、JA郡山市でつくる実行委員会の主催。製造、食品、サービスなど市内の多様な業種のブースを設ける。

産業博の成功を誓う



19、20日・ビッグパレット 出展者対象に説明会

郡山市の産業の魅力を結集して9月19、20の両日、同市のビッグパレットふくしまで開かれる「こおりやま産業博」の出展者説明会・展示会活用セミナーが21日、同市のビッグパレットふくしまで開かれ、写真、出展企業の関係者らが産業博の成功を誓った。

協議会、JA郡山市でつくる実行委員会（会長・丹治一郎郡山商工会議所会頭）が主催する。

これまで市内で開かれていた「農業・観光物産展」と「産業フェア・夢商い」を融合する。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに、約180社が多彩なブースを出展する。

説明会では、同実行委の担当者が事業概要、出展に向けた具体的な準備、商談会などについて説明した。

技に感嘆 夢に感動

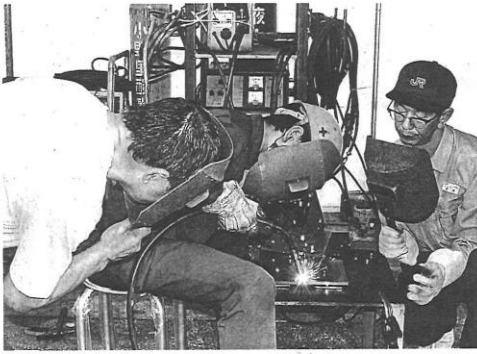
こおりやま産業博



華やかなドレスが登場した今泉女子専門学校のファッションショー

「名工」が溶接実演

専門学校生 学びの成果紹介
高校生



浜津さん（右）らが参加した溶接の実演

郡山市のビッグパレット「こおりやま産業博」つとみまで十九、は大勢の市民が訪れ、二十日の両日開かれた「にぎわった。約百九十の企業・団体の出展や、多彩なステージ発表を通して、来場者は千里の魅力を見つめ、再発見していた。



開幕を祝い鏡開きする関係者



地域活性化を目指し開発したカレーパンとラスクを販売する郡山商高生

式では、実行委員会長の丹治一郎郡山商工会議所会頭が「産業の活性化、地方創生、若者の夢がふれる地域づくりを生かしていくと述べた。品川萬里（まさ）市長があいさつし、関係者が鏡開きをした。

郡山地区鉄工業協同組合は、鉄工の仕事に理解を深めてもらうと、溶接のデモンストラーションを行った。「現代の名工」に選ばれた浜津修弘さん（JR東日本郡山総合車両センター）をはじめ、職人らが実演した。子どもたちが興味深く見学していた。

今泉女子専門学校はファッションショーを繰り広げた。専門課程

の学生、高等課程の生徒が秋の訪れ「フルーツ野菜」などをテーマにした衣装やファッションドレス、振袖などの作品を紹介した。

郡山商高生は、生徒が地域活性化を目指し、地域団体と協力し開発した、グリーンカレーパンとラスクを販売した。PR用の手作りの着ぐるみ「グリッシユ」も登場した。

「暮らし」のコーナーに出展した「タカマツ」は、福岡県久留米市のアサヒシューズの協力で足型測定を行った。専門の測定器で足幅、土踏まずの幅などを測定し、最適な靴のサイズを選び、アドバイザーが来場者の人気を集めていた。

福島民報 (27.9.21)

商都の魅力 アピール

事業所や学生180団体出展

こおりやま産業博



郡山市のビッグパレットつとみまで19、20の両日、初めて開かれた「こおりやま産業博」では、市内の事業所や学生ら約180の団体がブースを出展。「ふるさとの産物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに各種イベントも行われ、商都郡山の産業の魅力アピールした。市や郡山商工会議所など、つとみ実行委員会の主催。

カメラトピックス

医療機器メーカーのサンメディカルは、災害時の電源確保に使用される蓄電池をセットにした救急セットを用意。保存用の水や食品なども販売した。



福島ミリ安全は補助用マッスルベルトをPRし、実演をしながらヘルメットの特性をPRした



雪久栄珈琲は、中島茂店長がインドネシアやエチオピアの豆を運んで買付けしたコーヒー豆を販売。オリジナルブレンドも販売し、香り豊かなコーヒーを提供した



県南電気工事協同組合、パナソニックエコソリューションズ、東北電力の3社は合同ブースでIHクッキングヒーターの調理実演などを行った



郡山美味しい街づくり推進協議会は湖南地区で生産されたそば粉を使ったスイーツ4品の試食会を開き、アンケートを募った



「未来の匠たちのコーナー」では、国産アートとデザイン専門学校がミックスマット材の学生たちが開催者の似顔絵を描いた。学生オリジナルのグッズも販売された



開会式では、実行委員長の丹治一郎郡山商工会議所会頭、品川萬里市長があいさつしたほか、鏡開きで産業博の開幕を祝った

福島民友 (27.9.21)

郡山で「産業博」開幕

きょうまで最新技術など紹介

郡山地域の地場産業の魅力を発信する「こおりやま産業博」は十九、二十の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで開かれてい

る。約百九十の企業・団体で展示コーナーを設け、最新技術や自慢の逸品を紹介している。二十日まで。



地域の魅力を紹介し家族連れらでにぎわう会場

昨年まで開催していた「産業・観光物産展」と「産業フェア」を

「こおりやま産業博」に統合し、最新の技術や逸品を紹介している。二十日まで。

い」を一本化し、初めて催した。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマにロボットなどの技術や伝統工芸、医療、福祉など暮らしに役立つ情報を提供している。産直野菜や特産品を販売するグルメコーナーも人気を集めている。入場無料、時間は午前十時から午後四時まで。

郡山市、郡山商工会議所、郡山地区商工会、広域協議会、JA郡山市でつくる実行委員会が主催し、福島民報社などが後援している。

初日は開会式が行われ、福島民報社から佐藤光俊常務・郡山本社代表が出席した。

福島民報 (27. 9. 20)

華やかな阿波踊りで会場を沸かせる出演者



ステージ 華やか 阿波踊り こおりやま 産業博 最終日

郡山市のビッグパレットふくしまで十九日開幕した「こおりやま産業博」最終日の二十日、ステージで阿波踊りが披露された。

前日の十九日に郡山市で開かれた「みちのく阿波おどり」に出演した徳島県阿波踊り協会の踊り手六人をはじめ、郡山市の愛好者団体「つづくしま」から合わせて約四十人が出演した。心弾むおはやしの色に合わせ、力強い動きの男踊り、華やかな女踊りなどバリエーションに富んだ演舞で会場を沸かせた。

徳島の踊り手は、福島民報社と徳島新聞社の橋渡しで、「つづくしま連」などでつくる実行委員会が招いた。

福島民報 (27. 9. 21)

今泉女子専門校・あすファッションショー

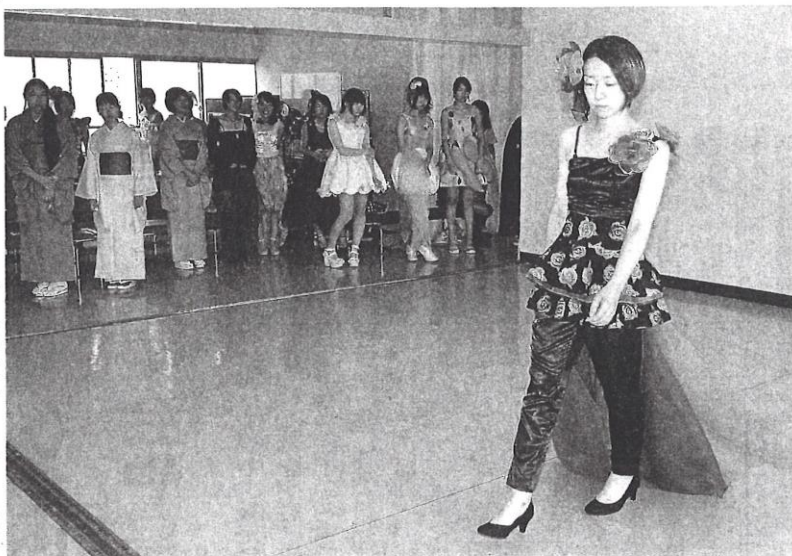
学生30人リハーサル

自身が自作のモデル役

郡山市の今泉女子専門学校で15日、同市のビッグパレットふくしまで19日に開かれる「こおりやま産業博」ファッションショーのリハーサルが行われ、本番に向けてショーの進行や発表する作品を再確認した。写真。

今回は、同校の学生約30人がモデルとして出演。それぞれテーマでデザインし製作した作品を学生自身が着てステージに登場し、作品の魅力をアピールする。社会人対象の一般コースで学ぶ幅広い年齢層の学生は着物のリフォームや、手芸を生かした作品を発表する。

リハーサルでは、学生たちがそれぞれの作品を身に付け、ナレーションに合わせたステージでの動きなどを確認した。



産業博でのショーは19日午後3時から開かれる。

福島民友 (27. 9. 18)

おしゃべりロボ 東北で初の出展

郡山で産業博開幕

郡山市の産業の魅力が一堂に結集する「こおりやま産業博」は19日、同市のビッグパレットふくしまで開幕し、最新の産業技術や食、教育など各分野ごとに商都郡山を広く発信している。20日まで。入場無料。市や郡山商工会議所などがつくる実行委員会の主催。

戦略的なブランドづくり



東北初出展となったおしゃべりロボット「オハナス」[㊦]

を目的に、これまでの「農業・観光物産展」と「産業フェア・夢商い」を融合し、初めて開催。「ふるさと名物の発見と近未来を体験できる暮らしの博覧会」をテーマに、同市の事業所など約180団体が出展している。

このうち、ドコモショップ南郡山店のブースでは、タカラトミーと共同開発したおしゃべりロボット「オハナス」が東北初出展された。声を掛けると適切な答えを判断して返答するドコモの「しゃべってコンシェル」の技術を応用して自然な会話ができるという、子どもたちがロボットとの交流を楽しんだ。

福島民友 (27. 9. 20)